

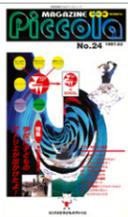
1996 平成8年度

03 景気後退を背景とする 制度改革期 1996-2005年度

1996年度の出来事

- ▶美術館
 - ・来館者数:344,239人
- ▶横浜市
 - ・「横浜ダンスコレクション」(現・ヨコハマダンスコレクション)開始
 - ・財団法人横浜市美術振興財団理事長に上野豊就任
 - ・横浜市民ギャラリーの運営が、横浜市から財団法人横浜市美術振興財団に移管
 - ・横浜能楽堂開館
 - ・横浜市芸術文化マスタープラン策定
- ▶国内文化
 - ・東京ビッグサイト(東京国際展示場)開館
 - ・文化庁「アーツプラン21」創設
 - ・岡崎市美術博物館(愛知)開館
 - ・山口県立萩美術館・浦上記念館開館
 - ・浜田市世界こども美術館(島根)開館
 - ・田辺市立美術館(和歌山)開館
 - ・広島原爆ドームと厳島神社、世界遺産に登録
 - ・東京国際フォーラム開館
 - ・宇都宮美術館(栃木)開館
- ▶国内外の動向
 - ・第1次チェチェン紛争休戦成立
 - ・在ペルー日本大使公邸占拠事件
 - ・クローン羊の開発成功

月	1996年度	4月	5月	6月	7月	8月	
事業等	みる(展覧会)	▶別表01 森村泰昌展 美に至る病—女優になった私(4月-6月) コレクション展 第1期(4月-9月)・全館コレクション展(6月-7月) ニバン・オランニウエスナ展(5月-6月) [オランニウエスナ展]の展示風景				アジアへの眼—外国人の浮世絵師たち(8月-10月) 金環漢展—もう一つの暴力/先駆者の部屋—(7月-8月)	
	つくる(子どものアトリエ)	▶別表02	学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン				
	つくる(市民のアトリエ)	▶別表03	一般講座 研究会 ・研究会生(有志)作品展 ・講座修了生(有志)作品展 映画上映関連講座 16mm映画制作WS(4月-5月)				
	まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04,05	教員向け研修 展覧会関連イベント ・アート・オン・ザ・ネット/インターネットの挑戦1996(7月-3月)				
	上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06	・イメージフォーラム・フェスティバル(4月-5月)				
	国際発信	▶別表01-04					
	出版	▶別表07	・「IRGB」No.23 ・「IRGB」No.24				

月	1996年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる (展覧会)	<p>○ 企画展 ○ コレクション展 ○ その他</p> <p>▶別表01</p> <p>アジアへの眼—外国人の浮世絵師たち (8月-10月)</p> <p>コレクション展 第2期 (9月-12月)</p> <p>G・S・カビール展 (9月-10月)</p> <p>コレクション展 コレクション特集: ダダとシュルレアリスムの作家たち (10月-1月)</p> <p>コレクション展 第3期 (12月-3月)</p> <p>現代の写真I 失われた風景—幻想と現実の境界 (2月-3月)</p> <p>劉旭光展—天地間の錆点— (2月-3月)</p>	 <p>「ダダとシュルレアリスムの作家たち」展のちらし</p>	 <p>「現代の写真I」展の横断幕。桜木町駅前の美術館専用ビルボード</p>					
つくる (子どものアトリエ)	▶別表02	<p>学校のためのプログラム</p> <p>個人の造形講座</p> <p>親子のフリーゾーン</p>	<p>学校展覧会 カラーコピーアートの展覧会とWS</p>	 <p>学校展覧会 小関風の展覧会とWS (1月-2月)</p>	<p>手でみる展覧会1</p>			
つくる (市民のアトリエ)	▶別表03	<p>一般講座</p> <p>研究会</p> <p>造形/表現研究会生 (有志) 作品展</p>	 <p>WS「人と人をつなぐ—1996」公開制作等 WS「人と人をつなぐ—1996」展示</p>	<p>講座修了生 (有志) 作品展</p>	<p>造形/表現研究会生 (有志) 作品展</p>			
まなぶ (美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04,05	<p>教員向け研修</p> <p>展覧会関連イベント</p>				<p>展覧会関連イベント</p> <p>美術情報センター 第5回シンポジウム</p>	<p>美術講座</p>	
上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06	<p>横浜美術館 映画上映会</p>				<p>失われた風景展 映画上映会 横浜美術館 映画上映会</p>	<p>ペーター・クーベルカ講演会+上映会 「私は虫、虫は私 86歳のファールブル画家・熊田千佳慕」試写会</p>	
国際発信	▶別表01-04							
出版	▶別表07	<p>「ピコロマガジン」第23号</p>				<p>「RGB」No.25</p>	 <p>「ピコロマガジン」第24号 「横浜美術館年報」3号</p>	

1997 平成9年度

03 景気後退を背景とする
制度改革期
1996-2005年度

1997年度の出来事

- ▶美術館
 - ・来館者数:942,509人
- ▶横浜市
 - ・長浜ホール開館
 - ・港南区民文化センター ひまわりの郷開館
 - ・栄区民文化センター リリス開館
- ▶国内文化
 - ・神戸ファッション美術館(兵庫)開館
 - ・NTTインターコミュニケーション・センター [ICC] (東京)開館
 - ・東京・日の出町のごみ処分予定地内の若林畜「緑の森の一角獣座」をめぐる審理開始
 - ・無言館(長野)開館
 - ・酒田市美術館(山形)開館
 - ・新津市美術館(新潟)開館
- ▶国内外の動向
 - ・化学兵器禁止条約発効
 - ・トニー・ブレア、イギリス首相就任
 - ・神戸連続児童殺傷事件
 - ・香港、中国に返還
 - ・アメリカの火星探査機、火星着陸
 - ・ダイアナ元イギリス皇太子妃、パリで事故死
 - ・山一証券、経営破綻
 - ・地球温暖化防止京都議定書採択
 - ・長野オリンピック・パラリンピック、開幕
 - ・金大中、韓国大統領就任

月	1997年度	4月	5月	6月	7月	8月	
みる(展覧会)	<ul style="list-style-type: none"> ○企画展 ○コレクション展 ○その他 	<p>▶別表01</p> <p>ボンベイの壁画展—2000年の眠りから甦る古代ローマの美—(4月-6月)</p> <p>コレクション展 第1期(4月-8月)</p> <p>蔡國華展—「何來何去」への探求—(5月-6月)</p> <p>「ボンベイの壁画展」の展示風景</p>			<p>テート・ギャラリー所蔵 ターナー展(6月-8月)</p>	<p>コレクション展 第2期(8月-11月)・全館コレクション展(9月-10月)</p>	
つくる(子どものアトリエ)	▶別表02	<p>学校のためのプログラム</p> <p>個人の造形講座</p> <p>親子のフリーゾーン</p> <p>学校のためのプログラム</p>					<p>夏休み造形講座 変身してダンスをしよう</p>
つくる(市民のアトリエ)	▶別表03	<p>一般講座</p> <p>研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座修了生(有志)作品展 ・版画研究会生(有志)作品展 ・造形/表現研究会生(有志)作品展 <p>触覚的生命世界(木に刻む)(5月-7月)</p>					<p>夏期集中講座 足付き器(ステンドグラスの技法で)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生講座 ・講座修了生(有志)作品展 ・造形/表現研究会生(有志)作品展(8月-9月)
まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04.05	<p>教員向け研修</p> <p>展覧会関連イベント</p>					<ul style="list-style-type: none"> ・美術情報センター 超高精細画像システムに関する共同実験(展示)
上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06	<p>・イメージフォーラム・フェスティバル(4月-5月)</p>					
国際発信	▶別表01-04						
出版	▶別表07	<p>・[RGB] No.26</p>		<p>・[RGB] No.27</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・[RGB] 増刊号 ・[横浜美術館叢書2]

月	1997年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業等	みる(展覧会)	<p>▶別表01</p> <p>コレクション展 第2期 (8月-11月)・全館コレクション展 (9月-10月)</p> <p>キューバの息吹 エドワルド・ロカ展 (9月-10月)</p>  <p>「ロカ展」会場で取材を受けるロカ</p>		<p>ルイズ・ブルジョワ展 (11月-1月)</p> <p>コレクション展 第3期 (11月-4月)</p>  <p>「ブルジョワ展」入り口のタイトルパネル</p>				<p>森田曠平展 (2月-3月)</p> <p>リンダ・バトラー写真展 イタリア・幻視の誘惑 (2月-3月)</p>	
	つくる (子どものアトリエ)	▶別表02	<p>学校のためのプログラム</p> <p>個人の造形講座</p> <p>親子のフリーゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校展覧会 小関凧の展覧会 学校展覧会 小関凧の展覧会 WS 		<ul style="list-style-type: none"> 小関凧の展覧会 (11月-12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 熊田千佳慕展 (12月-1月) 熊田千佳慕展 花をつくろう 	<ul style="list-style-type: none"> 学校展覧会 小関凧の展覧会 学校展覧会 小関凧の展覧会 WS 	 <p>日曜造形講座 いろいろお絵描き</p>	
	つくる (市民のアトリエ)	▶別表03	<p>一般講座</p> <p>研究会</p>  <p>公開制作 WS「版からのひろがり」スライドレクチャー等 (10月-11月)</p>		<p>WS「版からのひろがり」展示</p>  <p>新しい具象彫刻を求めて (10月-12月)</p>		<ul style="list-style-type: none"> 講座修了生(有志)作品展 造形/表現研究会生(有志)作品展 		
	まなぶ (美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04.05	<p>教員向け研修</p>		<p>展覧会関連イベント</p>	<p>展覧会関連イベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> 美術情報センター 第6回シンポジウム 		
	上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06	<ul style="list-style-type: none"> 横浜美術館 映画上映会 					<ul style="list-style-type: none"> 横浜美術館 映画上映会 	
	国際発信	▶別表01-04							
	出版	▶別表07	<ul style="list-style-type: none"> 「ピコラマガジン」第25号 	<ul style="list-style-type: none"> 「RGB」No.28 			<ul style="list-style-type: none"> 「RGB」No.29 	 <ul style="list-style-type: none"> 「横浜美術館研究紀要」第1号 「横浜美術館年報」4号 「「版からのひろがり」ワークショップ1997」 	

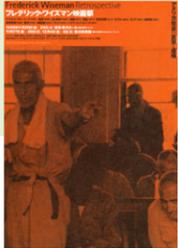
1998 平成10年度

03 景気後退を背景とする 制度改革期 1996-2005年度

1998年度の出来事

- ▶美術館
 - ・『横浜美術館研究紀要』を刊行開始
 - ・来館者数:278,954人
- ▶横浜市
 - ・横浜みなとみらいホール開館
 - ・財団法人横浜市文化振興財団理事長に齋藤龍就任
- ▶国内文化
 - ・山種美術館(東京)移転問題
 - ・東大寺戒壇院千手堂(奈良)全焼
 - ・麻布美術工芸館(東京)閉館
 - ・中央省庁等改革推進本部の行政スリム化計画の大綱の事務局原案、国立博物館、美術館を独立行政法人化の対象
 - ・特定非営利活動促進法(NPO法)施行
 - ・大分市美術館開館
 - ・福岡アジア美術館開館
 - ・島根県立美術館開館
 - ・セゾン美術館(東京)閉館
- ▶国内外の動向
 - ・明石海峡大橋開通
 - ・インド、ついでパキスタンで核実験
 - ・和歌山毒物カレー事件
 - ・小渕恵三内閣発足
 - ・Google設立
 - ・金大中韓国大統領来日、日韓共同宣言採択
 - ・シュレーダー政権発足(ドイツ)
 - ・江沢民中国国家主席来日、日中共同宣言
 - ・EUに通貨としてユーロ導入
 - ・写真フィルムの出荷量、CD生産枚数、国内史上最多

月	1998年度	4月	5月	6月	7月	8月	
事業等	みる(展覧会)	▶別表01 芸術家との対話—イヴォン・ランペール・コレクション展(4月-6月)		イタリア現代具象彫刻のマエストロ ヴェナンツォ・クロチェッティ展—いのちのうた—(7月-9月)		コレクション展 第2期(8月-11月)	
	○企画展	コレクション展 第1期(4月-7月)		スクピンドルシング版画展(7月-8月)			
	○コレクション展	 <p>「クロチェッティ展」 《平和の若い騎手》の 前に立つクロチェッティ</p>					
	○その他	▶別表02 学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン					
	つくる(子どものアトリエ)	▶別表03 一般講座					
	つくる(市民のアトリエ)	研究会 ・版画研究会生(有志)作品展 ・中学生講座(4月-3月) ・造形/表現研究会生(有志)作品展 ・講座修了生(有志)作品展(4月-5月)					
	まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04,05 教員向け研修		▶別表04,05 展覧会関連イベント		▶別表04,05 展覧会関連イベント	
上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06		▶別表06 イメージフォーラム・フェスティバル				
国際発信	▶別表01-04						
出版	▶別表07 ・[RGB] No.30 ・[ピコラマガジン] 第26号		▶別表07 ・[RGB] No.31				

月	1998年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる(展覧会)	▶別表01 ○企画展 ○コレクション展 ○その他	▶別表01 イタリア現代具象彫刻のマエストロ ヴェナンツォ・クロチェッティ展 『いのちのうた』(7月-9月) コレクション展 第2期(8月-11月)	美術と演劇 ロシア・アヴァンギャルドと舞台芸術1900-1930 『ロバーノフ=ロストフスキー・コレクション』(10月-12月) 李銘盛展 身長150cmの私(9月-10月)	コレクション展 第3期(11月-4月)・全館コレクション展(12月-1月)			菅木志雄:スタンス(2月-3月) カモン・パオサワット展 Between Hopeful and Hopeless(2月-3月)	
		つくる (子どものアトリエ)	▶別表02 学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン ・学校展覧会 小関風の 展覧会・WS 		・学校展覧会 小関風の展覧会(11月-12月) ・学校展覧会 小関風の展覧会 WS			
つくる (市民のアトリエ)	▶別表03	一般講座 研究会 ・講座修了生(有志)作品展	・公開制作 WS「いちご いちえ」レクチャー・ 制作等(10月-11月)	 ・WS「いちご いちえ」同仁不二展		・講座修了生(有志)作品展	 段ボール「夢幻で無限の発想」 (2月-3月)	
		まなぶ (美術情報センター、 研修、 シンポジウム等)	▶別表04.05	教員向け研修 展覧会関連イベント				展覧会関連イベント ・美術情報センター 第7回シンポジウム
上映会、展覧会関連、 パフォーマンス等	▶別表06		・横浜美術館 映画上映会	・フレデリック・ワイズマン 映画祭(11月-12月)		・菅木志雄講演会+上映会 ・菅木志雄展《存在と殺人》上映会 (2月-3月) ・菅木志雄スライド・レクチャー+上映会	・横浜美術館 映画上映会	
国際発信	▶別表01-04							
出版	▶別表07	・「RGB」No.32 ・「横浜美術館叢書3」	・「ピコラマガジン」第27号		・「RGB」No.33 ・「横浜美術館叢書4」	・「RGB」No.34	・「ピコラマガジン」第28号 ・「横浜美術館研究紀要」第2号	

1999 平成 11 年度

03 景気後退を背景とする
制度改革期
1996-2005 年度

1999 年度の出来事

- ▶美術館
 - ・事業:美術情報ギャラリー(現:美術図書室)がリニューアル
 - ・来館者数:792,905人
- ▶横浜市
 - ・よこはま動物園ズーラシア開園
- ▶国内文化
 - ・名古屋ボストン美術館(愛知)開館
 - ・東京藝術大学大学美術館開館
 - ・川崎市岡本太郎美術館(神奈川)開館
 - ・三越美術館(東京)閉館
- ▶国内外の動向
 - ・カンボジア、東南アジア諸国連合(ASEAN)加盟
 - ・国旗国歌法成立
 - ・東海村 JCO 臨界事故(茨城)
 - ・マカオ、中国に返還
 - ・総統選挙で陳水扁が当選(台湾)

月 1999 年度

みる(展覧会)

○企画展
○コレクション展
○その他

つくる
(子どものアトリエ)

つくる
(市民のアトリエ)

まなぶ
(美術情報センター、
研修、
シンポジウム等)

上映会、展覧会関連、
パフォーマンス等

国際発信

出版

月	4月	5月	6月	7月	8月
みる(展覧会)	▶別表01 國領経郎展(4月-6月)		開館10周年記念「世界を編む」展(6月-8月)		コレクション展第2期(7月-11月)
	コレクション展第1期(4月-7月)		徐攸廷展(6月-7月)		
	バス・エラスリス写真展 海の放浪者(5月)				
					
	「エラスリス写真展」の展示風景				
つくる(子どものアトリエ)	▶別表02 学校のためのプログラム				
	個人の造形講座				
	親子のフリーゾーン				
					
	長期日曜造形講座 ビデオアートクラブ				
つくる(市民のアトリエ)	▶別表03 一般講座				
	研究会				
	<ul style="list-style-type: none"> ・版画研究会生(有志)作品展 ・表現研究会(有志)作品展 ・講座修了生(有志)作品展 ・中学生講座(4月-7月) 				
	「横浜美術館 市民のアトリエ 受講生募集 1999.4-8」				
					<ul style="list-style-type: none"> ・公開制作「ヨコハマを編む」1999 展示 ・中学生講座 ・講座修了生(有志)作品展
			公開制作「ヨコハマを編む」1999 講演会・制作(7月-8月)		
まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04.05 教員向け研修				
	▶別表06 菅木志雄展講演会+映像作品上映会		▶別表06 イメージフォーラム・フェスティバル		
国際発信	▶別表01-04				
出版	▶別表07 [RGB] No.35		[RGB] No.36		[横浜美術館叢書5]

月	1999年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
みる(展覧会)	▶別表01 ○企画展 ○コレクション展 ○その他	開館10周年記念 セザンヌ展 (9月-12月)			幕末・明治の横浜展—新しい視覚と表現— (1月-3月)				
		コレクション展 第2期 (7月-11月)		コレクション展 第3期 (11月-4月)			管横賞展—逍遙遊— (1月-2月)		
つくる(子どものアトリエ)	▶別表02	学校のためのプログラム							
		個人の造形講座							
つくる(市民のアトリエ)	▶別表03	親子のフリーゾーン							
		一般講座							
まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04.05	研究会							
		・中学生講座 (9月-12月)  中学生講座 仮面作りWS				・講座修了生(有志)作品展 ・中学生講座 (1月-3月)			
上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06	教員向け研修							
		展覧会関連イベント							
国際発信	▶別表01-04								美術講座
									横浜美術館 映画上映会
出版	▶別表07	・「RGB」No.37	・「ピコラマガジン」第29号			・「RGB」No.38		・「ピコラマガジン」第30号 ・「横浜美術館研究紀要」第3号 ・「横浜美術館年報」5号 ・「横浜美術館所蔵品目録1989-1998」 ・「アートギャラリー活動記録1991-1998」	



「セザンヌ展」開催時の美術館正面



子どものアトリエ展2



中学生講座 仮面作りWS



2000 平成12年度

03 景気後退を背景とする 制度改革期 1996-2005年度

2000年度の出来事

- ▶美術館
 - ・来館者数:1,082,553人
- ▶横浜市
 - ・横浜情報文化センター開館
- ▶国内文化
 - ・多摩美術大学美術館(東京)開館
 - ・茨城県陶芸美術館開館
 - ・うらわ美術館(埼玉)開館
 - ・大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2000(新潟)、初開催
 - ・府中市美術館(東京)開館
 - ・奈良そごう美術館閉館
 - ・文部科学省発足
- ▶国内外の動向
 - ・森喜朗内閣成立
 - ・ウラジーミル・プーチン、ロシア大統領就任
 - ・朝鮮半島の分断後初の南北首脳会談
 - ・白川英樹、ノーベル化学賞受賞
 - ・日本赤軍最高幹部・重信房子逮捕
 - ・BSデジタル放送開始
 - ・ジョージ・W・ブッシュ、アメリカ大統領就任

月	2000年度	4月	5月	6月	7月	8月	
事業等	みる(展覧会)	▶別表01 熱き挑戦—片岡球子の全像展(4月-6月) コレクション展 第I期(4月-7月)・全館コレクション展(6月-7月) ハイナール・シリング展 エントロピーの森(5月-6月)				世界四大文明 中国文明展(8月-11月) コレクション展 第II期(7月-11月) ジョセップ・マリア・マルティン展 ミルタウン ヨコハマ・ダンス・ポート(7月-8月)	
	つくる(子どものアトリエ)	▶別表02	学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン				
	つくる(市民のアトリエ)	▶別表03	一般講座 研究会 ・中学生講座(4月-6月) ・表現研究会生(有志)作品展 ・講座修了生(有志)作品展 ・版画研究会生(有志)作品展(4月-5月)				
	まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04,05	教員向け研修 展覧会関連イベント ・ジョセップ・マリア・マルティン展 ボランティア(7月-8月) ・子どものアトリエ研修(7月-10月)				
	上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06	・イメージフォーラム・フェスティバル	・ハイナール・シリング展 ライブコンサート	・ジョセップ・マリア・マルティン展 パフォーマンス		
	国際発信	▶別表01-04					
	出版	▶別表07	・「RGB」No.39			・「RGB」No.40	



「マルティン展」の展示風景



素焼き「楠木鉢をつくる」

- ・中学生講座(8月-3月)
- ・講座修了生(有志)作品展

月	2000年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる (展覧会)	<ul style="list-style-type: none"> 企画展 コレクション展 その他 	▶別表01 世界四大文明 中国文明展 (8月-11月) コレクション展 第II期 (7月-11月) ルル・シュウツ・ホウ展 Japan-Eye-Love-You (9月-10月)			現代の写真II「反記憶」展 (11月-1月) コレクション展 第III期 (11月-4月) マリオ・デル・クルト写真展 THEOUTLANDERS アール・ブリュットの世界 (12月-1月)		近代彫刻—オブジェの時代展 (2月-3月)	 <p>「オブジェの時代展」の内覧会</p>
	つくる (子どものアトリエ)	▶別表02 学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン		・学校展覧会 熊田千佳慕展とWS (11月-12月)			 <p>・学校展覧会 熊田千佳慕展とWS (2月-3月)</p>	・手でみる展覧会3
事業等	つくる (市民のアトリエ)	▶別表03 一般講座 研究会		 <p>・公開制作 扇千花 WS、レクチャー等 (11月-12月)</p>		・講座修了生 (有志) 作品展		
	まなぶ (美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04,05 教員向け研修 展覧会関連イベント		展覧会関連イベント			・美術講座	
上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06 ・ルル・シュウツ・ホウ展 パフォーマンス ・横浜美術館 映画上映会						・横浜美術館 映画上映会	・横浜美術館 映画上映会
国際発信	▶別表01-04							
出版	▶別表07	・『ピコラマガジン』第31号	・『RGB』No.41	・『RGB』No.42	 ・『横浜美術館叢書6』	・『RGB』No.42	・『横浜美術館年報』6号	

03 景気後退を背景とする 制度改革期 1996-2005年度

2001年度の出来事

▶美術館

- ・組織：第4代館長に雪山行二が就任
- ・来館者数：862,895人

▶横浜市

- ・横浜トリエンナーレ2001開催
- ・中田宏が横浜市長当選
- ・横浜都市発展記念館、横浜ユーラシア文化館開館

▶国内文化

- ・国立博物館、美術館、文化財研究所の独立行政法人化
- ・千葉そごう美術館閉館
- ・平木浮世絵美術館（東京）閉館
- ・岩手県立美術館開館
- ・群馬県立館林美術館開館
- ・小田急美術館（東京）閉館
- ・伊勢丹美術館（東京）閉館

▶国内外の動向

- ・小泉純一郎内閣成立
- ・東京ディズニーシー開園
- ・アメリカ同時多発テロ事件発生
- ・国内初の狂牛病感染牛発見
- ・野依良治、ノーベル化学賞受賞
- ・アメリカ軍、アフガニスタン侵攻
- ・敬宮愛子内親王誕生
- ・EUでユーロ通貨流通開始

月	2001年度
	みる(展覧会)
	○企画展 ○コレクション展 ○その他
	つくる (子どものアトリエ)
	つくる (市民のアトリエ)
事業等	まなぶ (美術情報センター、 研修、 シンポジウム等)
	上映会、展覧会関連、 パフォーマンス等
	国際発信
	出版

	4月	5月	6月	7月	8月
▶別表01	イタリア彫刻の20世紀展(4月-6月) コレクション展 第1期(4月-6月) リバウンド/REBOUND展(4月-5月)				
	 「リバウンド展」の出品作家3人				
▶別表02	学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン 日曜造形講座 紙漉きアート				
▶別表03	一般講座 研究会 ・中学生講座(4月-6月) ・講座修了生(有志)作品展 ・版画研究会生(有志)作品展 ・中学生講座(8月-3月) ・講座修了生(有志)作品展 中学生講座 ミニチュアの世界 WS ・表現研究会生(有志)作品展(5月-6月)				
▶別表04,05	教員向け研修 展覧会関連イベント 教員向け研修 ・子どものアトリエ研修(7月-10月)				
▶別表06	・イメージフォーラム・フェスティバル				
▶別表01-04					
▶別表07	・「RGB」No.43	・「ピコラマガジン」第32号	・「横浜美術館叢書7」		・「RGB」No.44
	奈良美智展 I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME.(8月-10月) コレクション展 第II期(8月-11月)				
	 「奈良美智展」の会場風景				

月	2001年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる (展覧会)	<ul style="list-style-type: none"> 企画展 コレクション展 その他 	▶別表01 奈良美智展 I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME. (8月-10月) コレクション展 第II期 (8月-11月) スペースジャック! 展 (9月-10月)	[スペースジャック!展]の会場風景 ©Ernesto Neto 	世界を魅了したマクス・ウェア 真葛 宮川香山展 (10月-12月)	コレクション展 第III期 (11月-4月)	レオナルド・ダ・ヴィンチ《白貂を抱く貴婦人》チャルトリスキ・コレクション展 (1月-4月)		
		▶別表02 学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン	・学校展覧会 熊田千佳慕展とWS (10月-11月)					・学校展覧会 熊田千佳慕展とWS
つくる (子どものアトリエ)	▶別表03 一般講座 研究会					・講座修了生 (有志) 作品展		
		中学生講座 ミニスケルブチャーWS (2月-3月) 						
まなぶ (美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04.05 教員向け研修 展覧会関連イベント			展覧会関連イベント		展覧会関連イベント		・美術講座
		▶別表06 ・スペースジャック! 展 パフォーマンス ・横浜トリエンナーレ2001 支援イベント						
上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表01-04							
国際発信	▶別表07							
出版	▶別表07		・「RGB」No.45 			・「RGB」No.46 ・「ピコラマガジン」第33号		・「横浜美術館研究紀要」第4号 ・「横浜美術館年報」7号

2002 平成14年度

03 景気後退を背景とする 制度改革期 1996-2005年度

2002年度の出来事

▶美術館

- ・運営：運営組織が財団法人横浜市文化振興財団と統合し、財団法人横浜市芸術文化振興財団となる
- ・組織：美術振興部（旧・総務部）、学芸部の二部制に再編。廃止になった美術学習部のうち美術振興課（現・美術図書室を含む）は美術振興部に、アトリエ課は学芸部に統合
- ・来館者数：372,395人

▶横浜市

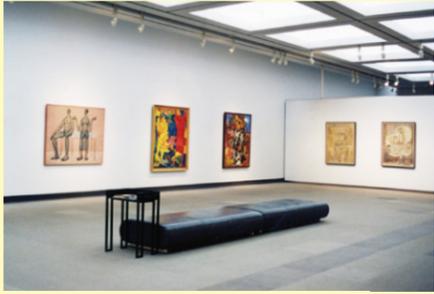
- ・財団法人横浜市芸術文化振興財団の理事長に齋藤龍が就任
- ・横浜赤レンガ倉庫1号館、横浜にぎわい座開館

▶国内文化

- ・松本市美術館（長野）開館
- ・ポーラ美術館（神奈川）開館
- ・岐阜県現代陶芸美術館開館
- ・熊本市現代美術館開館
- ・出光美術館（大阪）閉館
- ・知的財産基本法施行

▶国内外の動向

- ・ジャック・シラク、フランス大統領就任
- ・FIFAワールドカップ、日韓共同開催
- ・小泉純一郎、日本の首相として史上初の訪朝。日朝首脳会談。金正日、日本人拉致問題を公式に認める
- ・小柴昌俊、ノーベル物理学賞受賞。田中耕一、ノーベル化学賞受賞
- ・拉致被害者5人、北朝鮮より帰国
- ・盧武鉉、韓国大統領就任

月	2002年度	4月	5月	6月	7月	8月	
事業等	みる(展覧会)	<p>▶別表01</p> <p>よろこびの歌を唄いたい—宮崎進展(4月-7月)</p> <p>コレクション展 第I期(4月-7月)</p>  <p>「コレクション展」の展示風景</p>			<p>オフ・サイド展 Off-Side: Football is in Our Life(6月)</p>	<p>コレクション展 第II期(7月-11月)</p> <p>Bangkok in Pink マニット・スリワニチブーン展(7月-8月)</p> <p>ジャン=マルク・ピュスタモント展—プライベート・クロッシング—(7月-10月)</p>	
	つくる(子どものアトリエ)	▶別表02	<p>学校のためのプログラム</p> <p>個人の造形講座</p> <p>親子のフリーゾーン</p>				
	つくる(市民のアトリエ)	▶別表03	<p>一般講座</p> <p>研究会</p> <p>講座修了生(有志)作品展(4月-5月)</p> <p>版画研究会生(有志)作品展</p> <p>表現研究会生(有志)作品展</p> <p>中学生講座(5月-6月)</p> <p>中学生講座(8月-10月)</p> <p>講座修了生(有志)作品展(8月-9月)</p>				
	まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04,05	<p>教員向け研修</p> <p>展覧会関連イベント</p> <p>子どものアトリエ研修(5月-10月)</p> <p>オフ・サイド展 ボランティア</p>				
	上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06	<p>イメージフォーラム・フェスティバル</p>				
	国際発信	▶別表01-04					
	出版	▶別表07	<p>『RGB』No.47</p> <p>『RGB』No.48</p>				
			<p>「コレクション展」の展示風景</p> <p>蛸型鋳造「ブロンズII」</p>				
			<p>「コレクション展」の展示風景</p> <p>蛸型鋳造「ブロンズII」</p>				
			<p>「コレクション展」の展示風景</p> <p>蛸型鋳造「ブロンズII」</p>				

月	2002年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる(展覧会)	<ul style="list-style-type: none"> 企画展 コレクション展 その他 	▶別表01 ジャン=マルク・ピュスタモント展 —プライベート・クロッシング—(7月-10月) コレクション展 第II期 (7月-11月)	ピーター・ベラーズ展: Par for the Course (9月-10月)	生誕100年記念 ヴィフレド・ラム展—変化するイメージ—(10月-1月) カトリン・バウル展 (10月-11月)	コレクション展 第III期 (12月-3月)		明るい窓:風景表現の近代 (2月-3月)	
				 「ラム展」の開会式典であいさつする雪山行二館長				
つくる (子どものアトリエ)	▶別表02 学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン						・手でみる展覧会4 WS	 ・手でみる展覧会4 くるりんば展
つくる (市民のアトリエ)	▶別表03 一般講座 研究会			 ・公開制作 WS「語りかけるブロンズたち」 講演会など (11月-12月)	・WS展 語りかけるブロンズたち	 シルクスクリーン 思考を刷り重ねる (1月-3月) ・講座修了生(有志)作品展	・中学生講座 (2月-3月)	
まなぶ (美術情報センター、 研修、 シンポジウム等)	▶別表04,05 教員向け研修 展覧会関連イベント							教員向け研修
上映会、展覧会関連、 パフォーマンス等	▶別表06 ・ピーター・ベラーズ展 デモンストレーション							
国際発信	▶別表01-04							
出版	▶別表07	・「RGB」No.49				・「RGB」No.50		 ・「横浜美術館研究紀要」第5号 ・「横浜美術館年報」8号

2003 平成 15 年度

03 景気後退を背景とする
制度改革期
1996-2005 年度

2003 年度の出来事

▶美術館

- ・運営:3月 横浜美術館運営検討会議提言
- ・来館者数:780,928人

▶横浜市

- ・みなとみらい線開業
- ・BankART1929 Yokohama、BankART1929 馬車道開館

▶国内文化

- ・新潟県立万代島美術館開館
- ・大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2003 (新潟) 開催
- ・地方自治法の一部改正、指定管理者制度導入
- ・神奈川県立近代美術館葉山館開館
- ・森美術館 (東京) 開館
- ・宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 設立

▶国内外の動向

- ・SARS、新感染症に指定
- ・個人情報保護法成立
- ・三陸南地震発生
- ・有事関連三法、戦後初めて成立
- ・宮城県北部地震発生
- ・平成15年十勝沖地震発生
- ・地上デジタルテレビ放送開始
- ・アメリカ軍、サダム・フセイン元大統領 (イラク) を拘束
- ・自衛隊、イラク派遣開始
- ・マーク・ザッカーバーグ、Facebook 創業

月	2003 年度	4月	5月	6月	7月	8月	
事業等	みる (展覧会)	▶別表01 ポール・ジャクレール展 虹色の夢をつむいだフランス人浮世絵師 (4月-6月) コレクション展 第1期 (4月-7月)		生誕100年記念・没後20年 岡田謙三展 (7月-9月)		コレクション展 第11期 (8月-12月)	
	○企画展 ○コレクション展 ○その他						
	つくる (子どものアトリエ)	▶別表02 学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン ・戸部小学校「横浜美術館クラブ」 (5月-11月)					
	つくる (市民のアトリエ)	▶別表03 一般講座 研究会 ・講座修了生 (有志) 作品展 ・版画研究会生 (有志) 作品展 ・中学生講座 (7月-8月)					
	まなぶ (美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04,05 ソーラープレート版画Aコース		教員向け研修			
	上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06 展示会関連イベント ・イメージフォーラム・フェスティバル					
	国際発信	▶別表01-04					
	出版	▶別表07 ・[RGB] No.51		・[横浜美術館叢書8]		・[RGB] No.52	
		 <p>夏休み造形講座 びかびか金属でつくろう</p>					
		 <p>中学生講座 リトグラフ 本格的な版画に挑戦</p>					



月	2003年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる(展覧会)	企画展 コレクション展 その他	▶別表01 誕生100年記念・没後20年 岡田謙三展 (7月-9月) コレクション展 第II期 (8月-12月) バーバラ・ヒンダル展 Look! (9月-10月)  「ヒンダル展」の展示風景	中平卓馬展 原点復帰—横浜 (10月-12月)			東山魁夷展—ひとすじの道— (1月-2月)		
		コレクション展 第III期 (12月-3月)  「東山魁夷展」の展示風景				イスクラ・ディミトロヴァ展 こども会議 (1月-2月)		
つくる (子どものアトリエ)	▶別表02 学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン		日曜造形講座 粘土クラブ  日曜造形講座 粘土クラブ	・後藤楯比古の世界展				・武山忠道の世界展
つくる (市民のアトリエ)	▶別表03 一般講座 研究会			・中学生講座 (11月-2月)		・講座修了生 (有志) 作品展		 横浜フォトクルージング (2月-3月)
		講座修了生 (有志) 作品展  「横浜美術館 市民のアトリエ講座案内 2003.9-12月」 「横浜美術館 市民のアトリエ講座案内 2003.9-12」						
まなぶ (美術情報センター、研修、シンポジウム等)	▶別表04.05 教員向け研修 展覧会関連イベント	・バーバラ・ヒンダル展 ボランティア (9月-10月)				・講座修了生 (有志) 作品展		
		展覧会関連イベント ・バーバラ・ヒンダル展 ボランティア (9月-10月)  「ヒンダル展」の公開制作				・講座修了生 (有志) 作品展	展覧会関連イベント ・イスクラ・ディミトロヴァ展 ボランティア (1月-2月)	
上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	▶別表06		・バーバラ・ヒンダル展 公開制作 ・バーバラ・ヒンダル展 展示 ・バーバラ・ヒンダル展 光のインスタレーション展示		・中平卓馬展 映画上映会	・東山魁夷展 記念朗読会	展覧会関連イベント ・横浜美術館 映画上映会	
国際発信	▶別表01-04							
出版	▶別表07		・「RGB」No.53			・「RGB」No.54		・「横浜美術館年報」9号

2004 平成 16 年度

03 景気後退を背景とする
制度改革期
1996-2005 年度

2004 年度の出来事

▶美術館

- ・事業:開館 15 周年
- ・営業渉外:企業連携や商業撮影を開始
- ・広報:ウェブサイト全面リニューアル
- ・来館者数:331,873 人

▶横浜市

- ・横浜市芸術文化教育プラットフォーム設立
- ・神奈川区民文化センター かなっくホール開館
- ・文化芸術創造都市事業本部新設、文化政策課、創造都市推進課設置。創造都市政策を開始
- ・磯子区民文化センター 杉田劇場開館

▶国内文化

- ・紀伊山地の霊場と参詣道が世界遺産登録
- ・地中美術館(香川)開館
- ・東京国立博物館本館再開館
- ・金沢 21 世紀美術館(石川)開館
- ・国立国際美術館(大阪)移転開館

▶国内外の動向

- ・小泉純一郎首相が北朝鮮再訪、日朝首脳会談開催。拉致被害者の家族 5 人帰国
- ・性同一性障害者特例法施行
- ・胡錦濤が中国共産党、政府、軍の全権を掌握
- ・新潟県中越地震発生
- ・政治家の年金未納問題
- ・「冬のソナタ」で韓流ブーム、「ヨンさま」流行
- ・ジョージ・W・ブッシュ、アメリカ大統領 2 期目就任
- ・YouTube 設立

月	2004 年度
	みる(展覧会)
	○企画展 ○コレクション展 ○その他
	つくる(子どものアトリエ)
事業等	つくる(市民のアトリエ)
	まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)
	上映会、展覧会関連、パフォーマンス等
	国際発信
	出版

4月	5月	6月	7月	8月
▶別表 01 開館 15 周年記念 イメージをめぐる冒険—AND? それともVS?—(4月-6月) コレクション展 第 1 期(4月-6月) 「イメージをめぐる冒険」展の記者懇談会			▶別表 01 ノンセクト・ラディカル 現代の写真 III(7月-9月) コレクション展 第 2 期 開館 15 周年記念購入作品特別展示(7月-11月) ナデジダ・オレック・リャホヴァ展 Vanitas(7月-8月)	
▶別表 02 学校のためのプログラム 個人の造形講座 親子のフリーゾーン 夏休み造形講座 ジオラマをつくらう				
▶別表 03 一般講座 研究会 ・講座修了生(有志)作品展 ・版画研究会生(有志)作品展 ・中学生講座 親指ピアノ「創作楽器の音と造形を楽しむ」(7月-8月)				
▶別表 04.05 教員向け研修				
▶別表 06 展覧会関連イベント 子どものアトリエ研修(7月-11月)				
▶別表 06 イメージフォーラム・フェスティバル 「イメージをめぐる冒険」展 映像作品 上映会(5月-6月) [RGB] No.55			▶別表 06 ナデジダ・オレック・リャホヴァ展 パフォーマンス(7月-8月) [RGB] No.56	
▶別表 01-04 国際発信				
▶別表 07 出版 ・「横浜美術館・横浜市民ギャラリー 研究紀要」第 6 号				

月	2004年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる(展覧会)	企画展	▶別表01 ノンセクト・ラディカル 現代の写真Ⅲ (7月-9月)	開館15周年記念展 失楽園:風景表現の近代1870-1945 (10月-12月)			マルセル・デュシャンと20世紀美術 (1月-3月)		
	コレクション展	コレクション展 第2期 開館15周年記念購入作品特別展示 (7月-11月)	スー・グリアソン展 Slice (10月-11月)		コレクション展 第3期 (11月-3月)		シャルル・フレジェ展 RIKISHI (1月-2月)	
つくる (子どものアトリエ)	▶別表02	学校のためのプログラム						
		個人の造形講座						
		親子のフリーゾーン						・手でみる展覧会5
つくる (市民のアトリエ)	▶別表03	一般講座						
		研究会 ・講座修了生(有志)作品展 ・中学生講座 (9月-10月)	 オーソドックスな木の椅子を作る (9月-12月)			・講座修了生(有志)作品展		・中学生講座
まなぶ (美術情報センター、 研修、 シンポジウム等)	▶別表 04.05	教員向け研修						教員向け研修 (-4月)
		展覧会関連イベント					・美術講座	
上映会、展覧会関連、 パフォーマンス等	▶別表06		・スー・グリアソン展 映像作品上映会	・「風景表現の近代1870-1945」展 映画上映会				・ルーヴル美術館開催記念「映画/ アート」シリーズ vol.2、特別上映 ・マルセル・デュシャン展 マルセル・デュ シャンと映画
国際発信	▶別表 01-04							
出版	▶別表07		・「RGB」No.57			・「RGB」No.58		

2005 平成 17 年度

03 景気後退を背景とする
制度改革期
1996-2005 年度

2005 年度の出来事

▶美術館

- ・事業：4月 美術情報センター（現・美術図書室）がリニューアル
- ・事業：「ルーヴル美術館展」の来場者数が史上最大の60万人超
- ・事業：アーティストが館内で滞在制作を行う「アーティスト・イン・ミュージアム横浜（AIMY）」を開始（-2009年度）
- ・広報：「李禹煥 余白の芸術展」よりブログ開設
- ・来館者数：1,527,694人

▶横浜市

- ・東京藝術大学大学院映像研究科が馬車道に開設
- ・中田宏市長が、横浜美術館、みなとみらいホール、横浜にぎわい座、横浜能楽堂も公募で指定管理者を選定する方針を示す
- ・横浜トリエンナーレ2005開催
- ・横浜市民ギャラリーあざみ野開館

▶国内文化

- ・知床半島、世界自然遺産に登録
- ・三井記念美術館（東京）開館
- ・九州国立博物館（福岡）開館
- ・歌舞伎、ユネスコ無形文化遺産

▶国内外の動向

- ・個人情報保護法全面施行
- ・JR福知山線脱線事故
- ・アンゲラ・メルケル、東ドイツ出身者として初のドイツ連邦首相就任
- ・衆議院の郵政解散
- ・郵政民営化関連法成立
- ・惑星探査機はやぶさ、小惑星イトカワの試料採取に世界初の成功
- ・日本郵政株式会社発足
- ・ライブドア事件

月	2005年度
	みる(展覧会)
	○企画展 ○コレクション展 ○その他
	つくる(子どものアトリエ)
	つくる(市民のアトリエ)
	まなぶ(美術情報センター、研修、シンポジウム等)
	上映会、展覧会関連、パフォーマンス等
	国際発信
	出版

	4月	5月	6月	7月	8月
▶別表01	ルーヴル美術館展 19世紀フランス絵画 新古典主義からロマン主義へ(4月-7月)				わたしの美術館展「市民が選んだ」横浜美術館ベスト・コレクション(7月-8月)
	コレクション展 第1期(4月-7月)				コレクション展 第2期(8月-11月)
			サビーヌ・デルクール展 人の住む風景(6月-7月)		
▶別表02	学校のためのプログラム				
	個人の造形講座				
	親子のフリーゾーン				
					
	学校のためのプログラム 鑑賞プログラム				
▶別表03	一般講座				
	オープンスタジオ				
	講座修了生(有志)作品展	版画研究会生(有志)作品展	中学生講座		中学生講座
					
	『横浜美術館 市民のアトリエ・ワークショップガイド 2005.5-9』				
▶別表04.05	教員向け研修				
	展覧会関連イベント(3月-)				
				子どものアトリエ研修(7月-9月)	
▶別表06				ルーヴル美術館展 映像作品上映会 イメージフォーラム・フェスティバル	
▶別表01-04	国際発信				
▶別表07	出版				
	・『RGB』No.59 & 60 ・『横浜美術館・横浜市民ギャラリー研究紀要』第7号				

月	2005年度	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
みる (展覧会)	企画展	▶別表01 李禹煥 余白の芸術展 (9月-12月)		▶別表01 コレクション展 第2期 (8月-11月)		▶別表01 コレクション展 第3期 (11月-3月)		▶別表01 横浜、そしてパリー銅版画家 長谷川潔展 作品のみみつ (1月-3月)
	コレクション展	▶別表01 レイチェル・ロザレン展 (10月)	▶別表01 クリストファー・クック展 (11月-12月)					
つくる (子どものアトリエ)	学校のためのプログラム	▶別表02						
	個人の造形講座	▶別表02						
つくる (市民のアトリエ)	親子のフリーゾーン			▶別表02 子どものアトリエ フレンズ事業			▶別表02 子どものアトリエ フレンズ事業	▶別表02 熊田千佳慕ワールド みつばちマーヤ 原画展
	一般講座	▶別表03		▶別表03		▶別表03		▶別表03
まなぶ (美術情報センター、研修、シンポジウム等)	オープンスタジオ	▶別表03 市民のアトリエ WS展 (有志)		▶別表03 AIMY2005 屋代敏博 (11月-12月) AIMY2005 ロイ・スターブ (11月-12月) 中学生講座		▶別表03 市民のアトリエ WS展 (有志)		▶別表03 中学生講座
	教員向け研修	▶別表04.05						
上映会、展覧会関連、パフォーマンス等	展覧会関連イベント	▶別表06						
		▶別表06 レイチェル・ロザレン展 ショートパフォーマンス	▶別表06 AIMY2005 屋代敏博 パフォーマンス	▶別表06 横浜みなとみらいホール特別企画「美術を楽しむコンサート」	▶別表06 横浜みなとみらいホール特別企画「美術を楽しむコンサート」		▶別表06 横浜美術館 映画上映会 (2月-3月)	
国際発信	▶別表01-04							
出版	▶別表07							 <ul style="list-style-type: none"> ▶別表07 横浜美術館・横浜市民ギャラリー年報 10号 ▶別表07 「わたしの美術館」展 報告書 ▶別表07 李禹煥展 WS 報告書



「李禹煥展」のオープニング式典でスピーチする李



AIMY2005「屋代敏博」公開制作